



### <来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位: 億円)

日	買入	償還	繰上	国庫短期証券 発行・償還(3M)	CP等買入 ▲ 500 社債等買入 ▲ 100 国債補充供給 + 800	ETF買入 + 500	日: 鉱工業生産(前年比・前月比 11月) 欧: ユーロ圏財務相会合 (ユーログループ、オンライン)
1/18 (月)	+ 1,600	▲ 13,800	▲ 12,200				
1/19 (火)	+ 2,000	+ 2,000	+ 4,000			CP等買入 + 6,000	
1/20 (水)	+ 1,000	▲ 28,000	▲ 27,000	国債発行(20年) 国庫短期証券 発行・償還(1Y)			日: 日銀金融政策決定会合 米: 第46代大統領就任式 欧: ユーロ圏CPI(12月)
1/21 (木)	トン	▲ 4,000	▲ 4,000				日: 日銀金融政策決定会合、貿易収支(12月) 米: 新規失業保険申請件数(16日終了週) フィラデルフィア連銀製造業景況指数(1月) 欧: ECB政策金利発表・総裁記者会見 EU首脳会議、ユーロ圏消費者信頼感指数(1月)
1/22 (金)	トン	+ 2,000	+ 2,000				日: 日銀営業毎旬報告(1月20日現在) 全国CPI(前年比 12月) 欧: ユーロ圏総合・製造業・サービス業PMI(1月)

### <インターバンク>

日銀当座預金残高は週初486兆2,100億円から始まった。14日に減少要因の源泉税揚げがあったが、13日・15日の国債買入オペや13日の社債買入オペ、14日の国庫短期証券買入オペなどの増加要因が週を通して多く、週末15日には487兆6,500億円を越えた。無担保コールON物加重平均金利は、週初12日から14日まで都銀業態・地銀業態の日銀当座預金基礎残高・マクロ加算残高の調整を目的とした調達ニーズの高まりにより上昇を続け、14日には2020年10月以来約3か月ぶりの高さとなる△0.008%を記録した。週末3日積みとなる15日は期間の一部が来積み期に重なることから調達ニーズがやや弱まり、同金利は△0.015%まで低下した。日銀は14日に発表した地域経済報告(さくらレポート)で、全国9地域のうち北海道の景気判断を引き下げ、北陸、四国、九州・沖縄の3地域の景気判断を引き上げた。北海道の判断が引き下げられるのは2四半期ぶり、日銀は足元の景気回復ペースが「鈍化している」とした。来週の主な予定は、国内で日銀金融政策決定会合(20日・21日)や全国CPI(12月)の公表(22日)などがあり、海外では米国大統領就任式(20日)やECBによる政策金利の発表(21日)などがある。

### <レポ>

足許GC取引は週初△0.07%近辺から始まり、短国買入オペがオファーされた13日の取引でも出合いの水準に変化は見られなかった。積み最終日を跨ぐ取引は△0.08%台での出合いが中心であったものの、週末には短国3Mの入札もあって、△0.07%台まで上昇した。SC取引は2年408~420回債、5年136~145回債、10年340~361回債、20年169~174回債、30年63~69回債、40年12~13回債などに引合いが多く見られた。

### <TDB>

15日の3M965回債(4/19償還)の入札は、最高落札利回り△0.0902%(前回債△0.0851%)、平均落札利回り△0.0926%(同△0.0883%)となった。そのほかセカンダリーでは概ね3M物が△0.094%~△0.088%のレンジで取引された。また少額だが6M物が△0.109%近辺、1Y物が△0.12%近辺で取引された。

### <CP>

今週の入札発行総額は約7,600億円で、週間償還額(約4,000億円)を上回った。四半期末明けでの事業法人の発行再開の動きが強く、複数の業態で大型発行がみられた。また、電力業が電力需給の逼迫から予防的な資金調達を行うなど、マーケットは活況となった。発行残高は先週末の24兆5,938億円から、14日時点で25兆959億円に増加した。14日に、CP等買入オペが予定通り6,000億円で、下限レートが△0.09%(前回△0.10%)でオファーされた。結果は、按分レート△0.030%・平均落札レート△0.026%と前回比で案分レートは上昇、平均落札レートは低下した。発行レートは、△0.05%~0%近辺での出合いであった。来週の週間償還額は、約4,100億円程度となっている。3月期末を見据えて期内物中心の発行案件が多くなると思われる。発行レートは、投資家の運用ニーズが強く、マイナスから0%近辺の出合いが中心と思われるが、日銀オペ等の対象銘柄や希

本銘柄で強い買入オペを期待する中での出合いを予想する。資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

### [無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	△0.087 ~ 0.001
1M	△0.030 ~ 0.030
2M	0.000 ~ 0.040
3M	0.000 ~ 0.070
6M	0.000 ~ 0.130

### [オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	△0.05 ~ 0.00
TDB 3M	△0.130 ~ △0.080
CP 3M	△0.05 ~ 0.00